

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、「GS外国株式インデックス・プラス」は、日本を除く世界の株式市場への分散投資を通じて、様々な市場局面でも安定した付加価値の獲得を目指して運用を行ってまいりましたが、2015年10月26日に償還いたしました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者の皆様のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

交付償還運用報告書

GS外国株式
 インデックス・プラス

追加型投信／海外／株式

償還日(2015年10月26日)		第20期	
償還価額	15,633.12円	騰落率	1.71%
純資産総額	45百万円	分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

第20期(信託終了日2015年10月26日)

作成対象期間：2015年9月17日～2015年10月26日

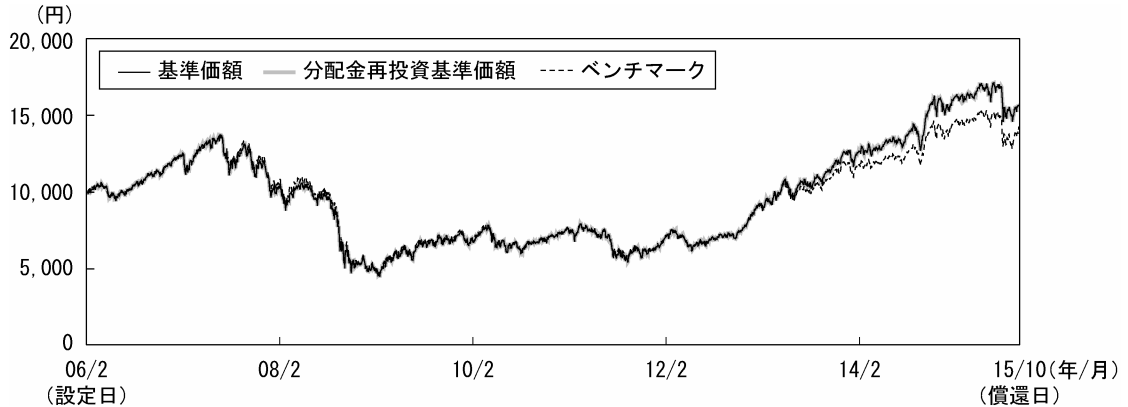
本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。償還運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

＜閲覧方法＞
 右記URLにアクセス⇒「償還ファンド運用報告書一覧」より本ファンドの「運用報告書(全体版)」を選択

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
 お問合せ先：03-6437-6000(代表)
 受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

設定以来の基準価額等の推移について（2006年2月28日～2015年10月26日）



（注1）ベンチマークはMSCIコクサイ・インデックス（配当なし／円換算ベース）です。

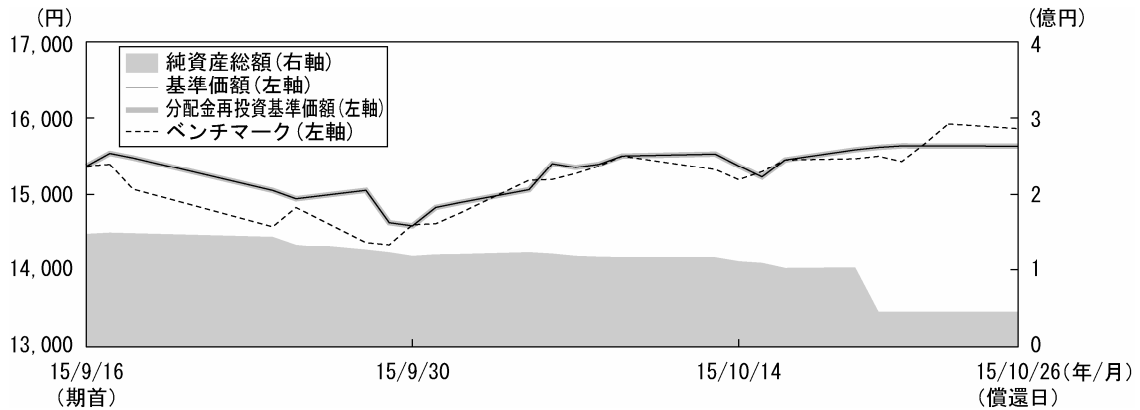
（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注4）分配金再投資基準価額、ベンチマークは、設定日（2006年2月28日）の基準価額を起点として指数化しています。

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2015年9月17日～2015年10月26日）



第20期首：15,371円

償還日：15,633円12銭

（当期中にお支払いした分配金：0円）

騰落率：+1.71%（分配金再投資ベース）

- （注1）ベンチマークはMSCIコクサイ・インデックス（配当なし／円換算ベース）です。
- （注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- （注4）分配金再投資基準価額、ベンチマークは、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の15,371円から262円12銭上昇し、償還日には15,633円12銭となりました。

上昇要因

8月下旬以降の世界的な株式市場の調整局面から、10月に入りリスク回避的な姿勢が和らいだことで米国および欧州の株式市場が反発したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

ドイツへの国別配分および米国における個別銘柄選択が基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2015年9月17日～2015年10月26日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	23円 (11)	0.161% (0.077)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(11)	(0.077)	
(受託会社)	(1)	(0.007)	
売買委託手数料 (株式)	0 (0)	0.002 (0.002)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用)	1 (0)	0.007 (0.003)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
(その他)	(1)	(0.004)	
合計	24	0.171	
期中の平均基準価額は14,590円です。			

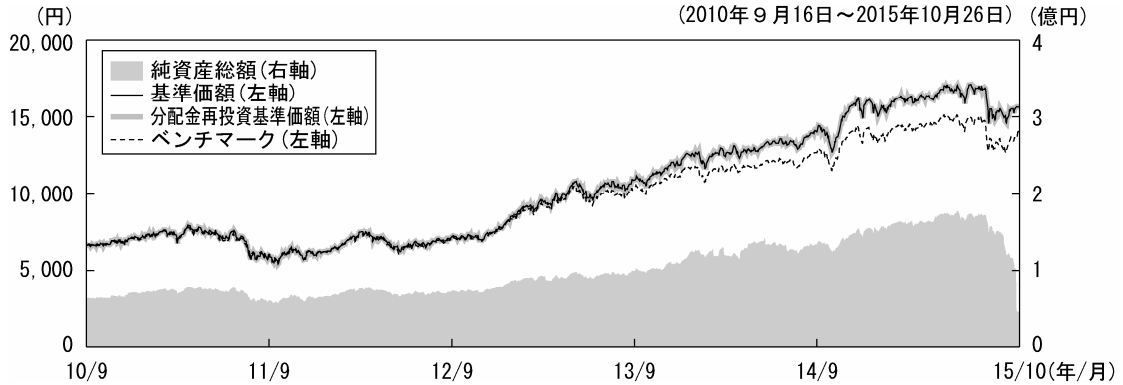
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 株式には上場投資信託証券を含みます。

最近5年間の基準価額等の推移について



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注3) 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2010年9月16日の基準価額を起点として指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2010/9/16 決算日	2011/9/16 決算日	2012/9/18 決算日	2013/9/17 決算日	2014/9/16 決算日	2015/9/16 決算日	2015/10/26 償還日
基準価額(分配落)(円)	6,635	5,959	7,262	10,924	14,017	15,371	15,633.12
期間分配金合計(税引前)(円)	—	0	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	-10.19%	21.87%	50.43%	28.31%	9.66%	1.71%
ベンチマーク騰落率	—	-8.61%	18.14%	45.33%	21.85%	6.97%	3.20%
純資産総額(百万円)	62	60	73	99	133	148	45

■ 投資環境について

＜外国株式市場＞

世界の株式市場（現地通貨ベース）は上昇しました。期初から9月末までは、8月下旬からの世界同時株安の余波で株価の下落基調が続きましたが、10月に入ると投資家の過度なリスク回避姿勢が後退し、大型株を中心に買い戻された結果、急激に回復し、前期末を上回る水準で期を終えました。

＜為替市場＞

外国為替市場では、米ドルが円に対して若干上昇した一方、ユーロは下落する結果となりました。

ドル円レートは、当期は、米国の利上げが見送られたことや、期初における世界的な株式市場の下落を受けたリスク回避の動きなどが円高ドル安要因となったものの、中国の利下げや欧州の追加金融緩和策への期待などから投資家心理が好転したことなどが円安ドル高要因となり、結局前期末から対円で若干上昇して期を終えました。ユーロは、期初は、米国の利上げが見送られたことや、世界的な株式市場の下落を受けたリスク回避の動きなどから概ね円高基調で推移しました。10月に入ると投資家の過度なリスク回避姿勢が後退したことなどから円安基調となったものの、期末にかけてドラギECB（欧州中央銀行）総裁が追加金融緩和策に言及したことなどから円に対して下落し、結局前期末から対円で下落して期を終えました。

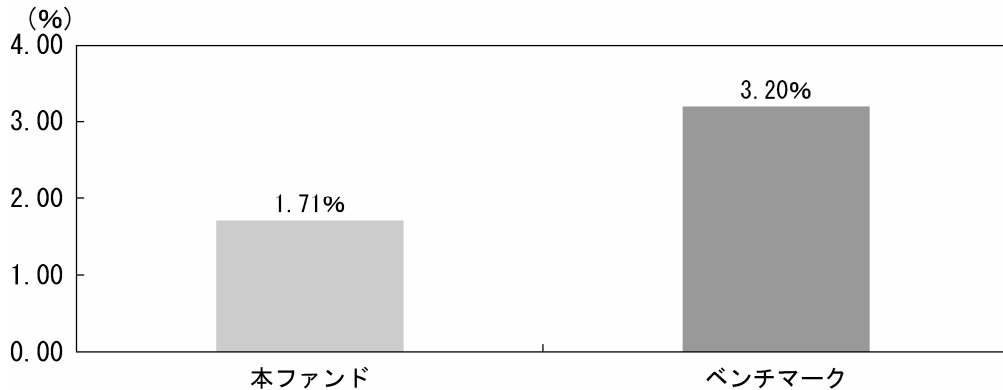
■ ポートフォリオについて

＜本ファンド＞

G S 外国株計量運用ポートフォリオ マザーファンドを通じて日本を除く世界の株式市場に分散投資を行い、MSCI コクサイ・インデックスとの連動性を維持しながら、信託財産の長期的な成長を目指すことを目標としています。2015年10月26日の繰上げ償還に向けて本マザーファンドを解約し、現金化を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

＜当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）＞



（注）基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+1.71%となり、ベンチマーク（+3.20%）を下回りました。

当期は、国別配分、個別銘柄選択ともに小幅マイナス寄与となりました。国別配分では、割安感からオーバーウェイトとしていたドイツ株式市場が下落しマイナス寄与となりました。個別銘柄選択では、米国がマイナス寄与となりました。

以上のような運用の結果、信託期間終了時における償還価額は、15,633円12銭となりました。

本ファンドは、信託約款の規定に基づき、2015年10月26日をもちまして繰上償還させていただくことになりました。

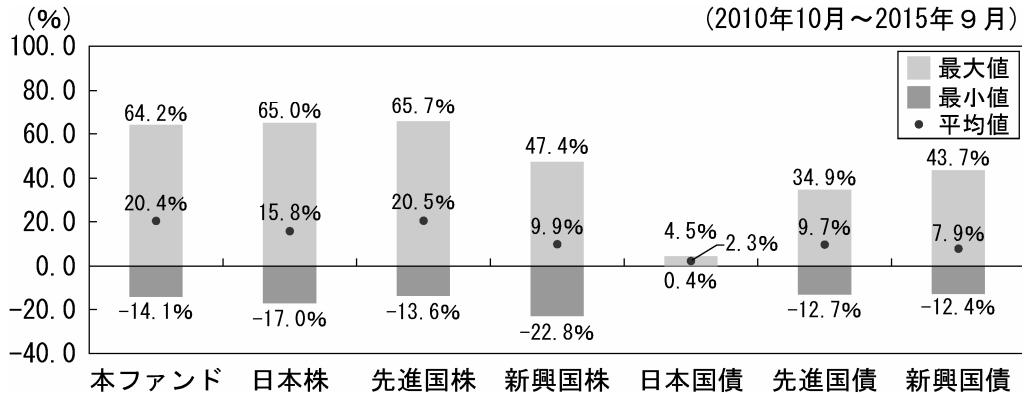
本ファンドを長らく保有頂きました受益者の皆様のご愛顧に感謝いたします。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	信託期間は2006年2月28日～2015年10月26日（繰上償還日）までです。
運用方針	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とし、株式の組入比率を高位に保ちながら、長期的に外国株式市場のもたらすリターンを享受することにより、信託財産の長期的な成長をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	G S 外国株計量運用ポートフォリオ マザーファンドの受益証券
G S 外国株計量運用 ポートフォリオ マザーファンド	日本を除く世界各国の株式
運用方法・組入制限	<p>①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。</p> <p>②実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。</p> <p>③本ファンド及びマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年3月16日および9月16日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2010年10月から2015年9月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

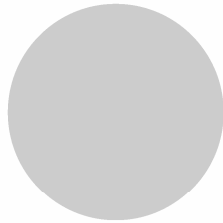
本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2015年10月26日現在）

○組入れファンド

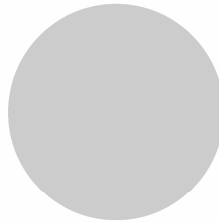
組入れはございません。

○資産別配分



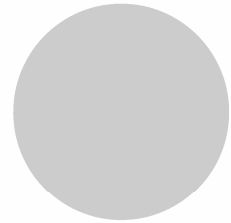
その他現金等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



日本円
100.0%

（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

項目	償還日
	2015年10月26日
純資産総額	45,548,844円
受益権総口数	29,136,120口
1万口当たり基準価額	15,633円12銭

（注）期首元本額は96,633,561円、当作成期間中において、追加設定元本額は900,957円、同解約元本額は68,398,398円です。

■ 組入上位ファンドの概要

組入れはございません。